

セミナー「事業資産の価値再生とリスクマネジメント手法」

共催：日本リアルオプション学会、早稲田大学ファイナンス研究センター 後援：社団法人長野県経営支援機構

日時：2009年12月12日(土) 10:00-17:00

場所：信州大学 繊維学部 総合研究棟 7F 会議室 上田市常田 3-15-1 信州大学上田キャンパス

アクセス：<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/maps/map04.html>

趣旨：リーマンショック以降、若干もちなおした企業業績も2番底が懸念されています。M&Aや設備投資・財務改善のため証券市場は未曾有の増資・起債ラッシュで低調に推移しております。こうしたなかで、事業用資産の価値をどう考えるか、また、公的セクターが企業支援するときのリスクをどう扱えるのか、確率的な手法を紹介してみたいと考えました。なつかしきモンテカルロシミュレーションが案外役に立っています。また、派生商品では響響を買った金融工学ですが、これを事業用資産の世界に適用すると、あるいはあたらな光明を見出せるかもしれないということで、たまたま上田で実施される日本リアルオプション学会研究発表大会に並行してささやかなセミナーを開催いたします。(文責・大谷)

プログラム

◆10:00-11:30 試論「観光資産の再生とリスク分析」

その1・・・宿泊施設・事業のリスクとオプション価値 ○高嶋隆太(千葉工業大学)、八木恭子(東京大学)、高森寛(LEC 会計大学院) その2・・・スキー場経営の近未来の描き方 ○後藤允(北海道大学)、高橋啓(早稲田大学)、大野高裕(早稲田大学)

リアルオプションを専攻する気鋭の若手が観光資産に挑戦してみようということになりました。投資銀行だったらこういう考え方もするかもしれない・・・という意味で発想の転換を図ります。

◆11:30-13:00 「お試し版・・・設備投資とモンテカルロシミュレーション」

(株)構造計画研究所のクリスタルボールのお試し版を使ってご紹介しながら例題も検討します。眺めるだけでもかまいませんし、よかったらご自分のPCをお持ちください。

(株)構造計画研究所+ホスト 関信一(長野県経営支援機構会長理事)

◆13:30-14:30 「資産価値とリアルオプション 金融危機と成長戦略」 川口有一郎(早稲田大学ファイナンス研究科)

本学会の会長で土木工学からリアルオプションに出合った同氏の不動産論は実務的にも透徹したものがあります。「リアルオプションの思考と技術」(ダイヤモンド社)は数式が出てこない入門書です。なお、ご活躍ぶりは、<http://ykawaguchi.iza.ne.jp/>をご参照ください。また、Jリートにご関心の方は、<http://nikkei.hi-ho.ne.jp/jreit/>に連載があります。

◆14:45-15:45 「設備投資とモンテカルロ・シミュレーション リスクマネジメント入門」 池田修一(株)構造計画研究所)

昼の例題検討に続いて、さらにいろいろな事例をご紹介します。

◆16:00-17:00 「見えない事業毀損リスクの可視化と削減」 小林孝明(株)野村総合研究所)、外園康智(株)野村総合研究所)

18:00-19:30 懇親会

ご参加の申込み先:学会ホームページ <http://www.realopn.jp/>から、本セミナーへの参加申し込みをお願いします。本セミナーは、日本リアルオプション学会の研究発表大会(2009年12月12日、13日)の第1日目に、平行して、開催されます。同研究発表大会の参加者は、本セミナーのどのセッションにも、ご自由に、ご参加いただけます。研究発表大会の参加申し込みのページで、本セミナーのどのセッションに参加を希望されるかをチェックしてください。非学会員の方で、本セミナーのみに、ご参加を申し込まれる方も、同ページから、お申し込みください。その場合は、参加費は、5,000円です。懇親会は、別途、参加費をいただきます。事前申し込み3,000円、当日申し込み、4,000円です。定員: 50名(先着順)